

かさま 社協だより

No.37



編集・発行 2018.12.28

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



笠間地区来栖支部の「ふれあいサロン来栖」

撮影 畠山

も く じ

- ① 第68回茨城県社会福祉大会 2
- ② ふれあいサロン来栖・配食サービス・ちょっといい話 3
- ③ 社協からのお知らせ 4～5
- ④ ボランティアセンターだより 6～7
- ⑤ お知らせ 8



この広報誌は共同募金の配分金を受けています。

市民のボランティア9団体と 個人13人が表彰される

10月17日（水）常陸太田市

民交流センター「パルティ
ホール」で、第68回茨城県社
会福祉大会が開催されました。
オープニング・アトラク
ションとして、天神ばやしや、
ピアニスト宮本まどか氏によ
るピアノ演奏と記念講演があ
りました。

式典では県内各地の功労者
の顕彰が行われました。
本市関係者を紹介します。
（順不同・敬称略）

茨城県知事表彰

社会福祉施設職員

木村 哲之 笠間陽だまり館

安達 秀樹 笠間陽だまり館

社会福祉援護功労者

ともべマジック遊友

傾聴すずらん

要約筆記「若葉」

ハーモニエーせせらぎ

レクリエーションいわま

社会福祉自立更生者

栃木 実

茨城県社会福祉協議会
会長表彰

民生委員・児童委員

鈴木 進一

社会福祉施設職員

関 順子 笠間市ともべ保育所

横山 暁子 笠間市立いなご園

高松 恒子 笠間陽だまり館

友常 晴美 かさまグリーンハウス

林 美恵子 グループホームかさま

横山とし子 かさまグリーンハウス

田澤 順子 かさまグリーンハウス

自立更生者

山崎かおり

ボランティア

配食サービス「さくら」

配送ボランティア「ひだまり」

笠間市スクエアステップ

リーダー会岩間支部

おはなしの会 サルビア

ハイビスカスの会

心配ごと相談員

高橋 幸子 笠間市社会福祉協議会



記念講演 ピアニスト 宮本 まどか氏

演題 「風の旋律 ～音がひびきますか～」



「まどかさん、
本当に聞こえてい
ないのですか」と
ステージに向って
何度も問いかけて
いた。

はつきりとした
口調で、聞き取り
やすい声量で私の
耳には届いていた。
まどかさんがピ
アノで「チュー
リップ」を弾く
と、会場内は自然
に「さいた さい
た」と歌っていた。
「チューリップ」
の歌には、幼稚園
時代の辛い辛い思
い出があった。

5歳の時、神経性高度難聴
と診断され両耳は聞こえな
かった。
だから、朝に帰りに歌って
いた「チューリップ」は、歌
うことができなかった。
聞こえないことはいじめら
れ、その時「言葉をしゃべっ

てみせる」と幼い心に誓った。
6歳でろう学校に入学し、
口を見ながら言葉を読み取る
「読唇術」と補聴器を使いこ
して発語する授業が主で、手
話は禁止だった。終わりのな
い気の遠くなる言葉の訓練を
受け、今では、ゆつくりはつ
きりと話してくれると、相手
は何を話しているかが分かり、
言葉を発することができるよう
になった。

母はピアノを買った。ろう
学校の先生がピアノを習うこ
とを勧めてくれ、ここから、
まどかさん、お母さん、ピ
アノの先生との想像を絶する
レッスンが始まった。

最初に覚えた曲は「チュー
リップ」。私の嫌いな歌と
知っているのに、なぜこの歌
なのかと思った。
母は、みんなと楽しく歌う
ことができなかった現実を受
け入れ「嫌いなことから逃げ
て欲しくない」と挑戦させた
のだ。

普通学校に学年を一年下げ
3年生に編入した。ここでも
いじめられ、学校に居ると疲
れ、帰ると「私のピアノを聴
いて！ 私のピアノが聴こえ
るでしょう！」と叫び続けて
いた。その叫びが聞こえたの
か、5年生の時、学芸会で合

唱のピアノ伴奏に選ばれ、「星
の世界」を弾いた。
普通高校、大学に進学し、
OL、結婚、母になっても辛
い時は、ピアノは黙って優し
く心を抱き止めてくれた。

「エリーゼのために」は母
へのプレゼントとして練習し、
なんとか形にしたのは1年後、
今日の会場内にも流れた。
最後に手話を交えて「ふる
さと」を歌った。

帰りのバスの中は「チュー
リップ」を歌っている私がい
た。

（埴）

《講師紹介 ピアニスト 宮本 まどか氏》

1960年、静岡県浜松市生まれ。5歳のときに神経性高度難聴と診断される。6歳のとき、言語・聴能訓練と同時にピアノを始める。高校時代には浜松市でピアノコンサートを開催、「日米高校吹奏楽演奏会」に出演。テレビでも取りあげられ、SBS静岡放送『風の旋律～聞こえの家の子どもたち』（日本民間放送連盟優秀賞受賞）、NHKスペシャル『35年目の教育テレビ』に出演。94年には読売新聞・カネボウ・「ヒューマンドキュメンタリー」ドラマ部門で『風の旋律』が受賞（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

『聞こえないピアニスト』より

助け合い・支え合い

ふれあいサロン来栖

第4回「ふれあいサロン来栖」が10月27日（土）、来栖公民館で行われた。参加者はお年寄り、主催者、ボランティアを合わせて約40人。

来栖支部長でサロンの代表者の塩田幸三さんから話を聞いた。「楽しい交流の場を作る目的で今年6月にサロンを立ち上げた。公民館活動の中の2つのサークル（いきいきステップとくらしの学級）を中心に民生委員、ボランティアを加えて組織した。サロンは毎月第4土曜日に開いている」とのことだ。



今日のメインはマンダイの煮付け

サロンは毎回催し物を変えており、今回はスクエアステップマットを使ったお手玉投げ。輪投げのようにスクエアステップマットのマス目にお手玉を投げて得点を競うゲームである。マス目に役が付いており投げたお手玉の配列で得点が決まる。副代表の平間敏子さんによると得点を競うなかで点数を数えるので頭の体操にもなるとのこと。ゲームは1時間程で終わり参加者は順位に応じた賞品を手にした。

ゲームの余韻が冷めやらぬなか、3人のヘルスリーダーとボランティアの方が作った昼食。食事前にリーダーの長谷川史子さんから塩分を控え目にしたなど、食べる人の身になって作ったことの説明があり、和気あいあいの食事となった。参加者から「元気になるからまた来たい」「もっとと男性が多いと良い」などの話を聞いた。

午後はおしゃべり、オセロなどの時間。笑顔いっぱいサロンの一日でした。（白土）

岩間地区

配食サービス特集②

岩間地区の配食サービスは、毎週月曜日に食事づくりが困難な70歳以上のひとり暮らし高齢者に生活の支援と心のふれあいを目的に実施しています。

調理ボランティアサークル（すみれの会・たんぽぽの会・ひまわりの会・ゆりの会）、配達ボランティア「四つ葉のクローバー」、お弁当のかけ紙を作る「お便りがかり」のご協力をいただいています。

年間に配食される弁当の数は2000食に上ります。

献立は各サークルで決め、季節の食材を使ったボラン



56食作りました



おいしいお弁当の出来上り

ティアの温かい気持ちが込められた美味しいお弁当を作っていたんでいます。

配達では、利用者と顔が見える関係とお弁当のかけ紙に書いてある献立の説明や世間話をして、ふれあいを大切に心がけています。

このように、身近な住民の方々の熱いボランティアの協力が地域を支える原動力となっています。

笠間・岩間・友部各地区の「配食サービス」を順次特集します。この他に、各支部（地区）などで独自に行っている「配食サービス」もあります。



ちょっといい話

高齢者の方のひとり暮らしで、社会的に孤立してしまうことが社会問題となっている。今、笠間市においても、やはり例外ではありませぬ。

ただ寂しいということだけではなく、筑波大学などの研究チームが「身近に近所づきあいがある人や、サロンや地域の祭りなど社会参加があり、経済的にも困窮していない人」とを比較した結果、福祉サービスなどの活用が出来ていないと死亡したり介護が必要になるリスクが、1.7倍も高くなるという追跡調査結果をまとめました。

笠間市社協では、ひとり暮らしの高齢者向けに配食サービスを発行しており、当広報誌でも前号より3回に渡り特集を組んでご案内しています。他にも地区でのサロンや催し、ボランティアなど社会参加の場も提案しています。ご利用やボランティア参加希望の方は、ご相談ください。

（入江）

お知らせ

第7回を迎える笠間市社会福祉大会の今年度の開催日程などが決まりました。皆さまのご参加をお待ちしています。

福祉機器（車いす・ベッド・松葉杖）の貸し出しのお知らせです。利用規定をご理解のうえお借りください。

災害義援金の募集についてお知らせします。何かと出費の多い時期ですが、ご協力をよろしく願います。

「手をつなぐ育成会」の活動報告、「心配ごと相談所3支所合同勉強会」の研修報告、現在までの災害義援金状況の報告も掲載しました。

案内 第7回笠間市社会福祉大会の開催

本大会は、福祉関係者が一堂に会し、住み慣れた地域で、地域とつながりを持ちながら自分らしい暮らしが続けられるよう地域と連携・協働して、だれもが安心して暮らせるまちづくりを更に推進すると共に、永年にわたり社会福祉の振興に貢献された個人・団体の方々に顕彰し、感謝の意を表すために開催します。

社会福祉協議会は、時代の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、住民主体の地域づくりを推進することはもとより、関係機関、住民が協働で生活・福祉課題を解決する取り組み体制の構築を進めてまいります。

日時 平成31年1月26日（土）
13時30分～16時00分

会場 笠間市笠間公民館大ホール

内容 式典（顕彰、大会宣言）及び講演

講演 演題 「ボケないためにボケまくる！これがボケないための常備薬」
講師 コント山口君と竹田君（お笑い芸人）

11/14 笠間市手をつなぐ育成会 第2水よう会

笠間市手をつなぐ育成会（障がい者親の会）では、毎月第2水曜日に『第2水よう会』を開催しています。

会員に限らず、障がい者の家族を持つ保護者の方々が、ほかでは打ち明けられない悩みなどを話し、生活に役立つ情報を得て気分転換をはかっていただく場になっています。

会員は38人、合併して6年にも出かけています。

この日は、6人のお母様が参加され「ぞうきん作り」の作業を…。会話がとぎれることなく和やかな雰囲気でした。

参加者は「情報交換の場としてとても楽しいです。杜協の方も来ていただき、勉強にもなり助かっています」と話してくれました。

（関）



和やかに作業するお母さんたち

案内 心配ごと相談所 笠間・友部・岩間

笠間市社会福祉協議会では、市民の生活上のいろいろな悩みや、心配ごとに対して相談を受ける窓口として心配ごと相談所を開所しています。

たとえば、家族や財産、福祉や人権に関する事など広く相談を受けています。

個人情報や相談内容などは秘密厳守いたしますのでお気軽にご相談ください。

また、相談内容によっては、関係機関や弁護士相談への案内をさせていただきます。悩みを抱えこまず、どなたでもご相談ください。



相談時の事例ごとに、担当者から対応の内容を聞き、分かりやすく、時おりユーモアを交えた解説があり、あつという間の一時間三十分でした。

習得した知識・技法を十分に活かし、今後の相談業務にあたりたいと思います。

（畠山）

報告 心配ごと相談所 合同勉強会

11月12日（月）みとみらい法律事務所、後藤直樹弁護士を講師に迎え、相談員21人が参加して行われました。

岩間地区の真家主任相談員の挨拶のあと

①相談技法の基礎的知識
②法律関係の基礎的知識を学んだあと、4事例の解説に入りました。

平成29年度 相談内容

（単位：件）

相談事項	心配ごと相談			
	笠間	友部	岩間	合計
生計	3	1	1	5
年金	0	1	0	1
職業・生業	2	1	2	5
住宅	2	1	1	4
家族	1	4	1	6
結婚	0	0	0	0
離婚	0	7	3	10
健康・衛生	0	2	0	2
医療	0	1	0	1
精神・衛生	0	0	2	2
人権・法律	1	0	0	1
財産	6	20	5	31
事故	2	1	0	3
児童福祉・母子保健	0	0	0	0
教育・青少年	0	0	0	0
障害者（児）福祉	0	0	0	0
母子福祉・父子福祉	0	0	0	0
高齢者福祉	1	0	0	1
苦情	0	1	4	5
その他	5	57	2	64
合計	23	97	21	141



善意銀行に寄贈された車いす

社協からの



案内

福祉機器貸し出します

〔貸出品〕 車いす・ベッド・松葉杖

〔貸出期間〕 1ヶ月間

貸出期間を超える場合、期間中に更新申請（1ヶ月ごと）をしていただき、最大6ヶ月までとなります。

〔利用対象者〕 市内に居住し、次のいずれかに該当する者。

ただし、車いすの短期間貸出（7日間以内）についてはこの限りではない。

(1)介護保険制度において福祉用具貸出の対象とならない者。

(2)身体障がい者（児）で、補装具交付の対象とならない者。

〔利用申込〕 『福祉機器借用申請書』に記入し、社会福祉協議会に申し込みください。

※申請書は、本所・各支所又はホームページからダウンロードできます。

〔利用料〕 原則無料です。ただし、貸出中に故意により破損等をした場合の修繕費は、自己負担となります。

〔機器搬送〕 原則として個人にて行っていただきます。



赤い羽根共同募金

災害義援金の報告

お寄せいただいた義援金は、茨城県共同募金会へ送金させていただきました。

大阪府北部地震義援金	892円
米原市竜巻災害義援金	892円
7月豪雨災害義援金	292,389円
〈平成30年9月末現在〉	

※義援金はその後、義援金配分委員会の基準に基づき、被災者の方々に届けられます。



案内

災害義援金の募集

平成28年熊本地震
平成30年北海道
胆振東部地震

〔期間〕 平成28年4月15日～平成31年3月31日まで

〔期間〕 平成30年9月12日～平成31年3月31日まで

〔募金の受付〕 社会福祉協議会本所・支所にて受付しております。

募金箱も設置しております。

茨城県共同募金会笠間市共同募金委員会



募金箱

センターだより

く り を 目 指 し て

「第一火曜日の会」は、地域福祉センターともべ研修室にて、笠間市薬剤師会会長のご協力のもと「お薬講座」を開催。薬の「効能・飲み方・副作用」などわかりやすい説明で、参加者も大満足。

「まゆ玉人形・化粧水」づくりでは、来年の干支飾りや化粧水を楽しく作りしました。

「ふれあいスポーツの集い」には、ボランティアサークル「配食さくら」がとん汁づくりで大活躍。

友部・笠間地区それぞれの地内で開催された「福祉バザー」の結果なども掲載しました。

「第一火曜日の会」

9/4

「お薬講座」

鯉淵 町田 吉弘



講師 島川 清先生

9月4日（火）9時30分から笠間市地域福祉センターともべ研修室で『お薬講座』が開催された。これは「第一火曜日の会」の今年度第2回目の集いで、22人が参加して根本薬局の薬剤師で笠間市薬剤師会の会長でもある島川清先生の話聞いた。

茨城県と薬剤師会の発行した冊子「くすりの豆知識」から「からだの中の薬の働き」「薬の飲み方」「薬の副作用」「薬の相互作用」等の説明を聞いた。

またジェネリック医薬品、「かかりつけ薬剤師」「かかりつけ薬局」の説明があった。国民皆保険を続けるには財政面を積極的に見直す必要がある。ジェネリック医薬品は国が推進しているもので安心安全



よ〜くわかりました

全な医薬品である。

また、かかりつけ薬局は皆利用しているのではないだろうか？おくすり手帳を一冊だして、どこの病院でも同じ薬局で調剤してもらう。これにより類似した薬の調剤は防ぐことが出来る。入院時もおくすり手帳を提出することで重複することがなくなる。

アンケートから

参加者は60代10人・70代10人・80代1人。参加者全員が理解できたとの回答でした。

感想として

○講師の声が大きく大変わかりやすかった。

○「かかりつけ薬剤師」と「薬剤師訪問」があることを知り、重要性がわかった。

○薬の効能、飲み方、副作用などの話で不安が解消した。

12/4

「まゆ玉人形(干支飾り) まゆ化粧水」づくり

24人参加



い い 亥 年 だ り ま す よ う に

社協笠間支所で、茨城生物の会元会員の堤徳郎さん（下郷在住）を講師に迎え、まゆ玉人形の干支飾り（亥）とまゆ化粧水を作りました。

「まゆ玉の化粧水」は新聞等にも紹介され、参加者の皆さんは興味津々。人形を作っている間に一時間程で出来上がり、インドネシアの王族が使っているという高級化粧水に大感激。「こんなに簡単な自分でも作ってみよう」と笑顔で話していました。

まゆ玉人形は、来年の干支が亥なので、かわいい「うり坊」を作りました。堤さんが揃えてくださった茶色に染めたまゆ玉に、鼻、耳、前と後ろの脚ヅメ、尻尾を付け、目鼻と背中に筋を描いて出来上がり。それぞれの個性が輝いた講座でした。

ボランティアセンターから

ひとりごと

今年の流行語大賞にノミネートされた一つに『スーパীবランティア』があります。

お盆休み、お母さんの実家（山口県）に遊びに来ていた2歳の男の子が、行方不明になり、3日ぶりに大分県に住む『スーパীবランティア』尾畠春夫さん（78歳）が救出し、一躍時の人となりました。

年齢が近いというわけではありませんが、何か目標を持って、このセンターに来られてるボランティアの皆さんと尾畠さんが重なって見えませんでした。

共通しているのは、年齢を感じさせない前向きな、エネルギーに満ちていること。「人の役に立てる」「何かできる」と社会や他人との関わりを大切にし、自分自身も楽しんでいる姿です。

今ボランティアセンターは大きな事業「福祉バザー」を終え静かな時が戻っています。

◆問い合わせ先

笠間市ボランティアセンター
TEL 0296 (78) 2626



友部公民館広場

ボランティア

住みよいまちづくり

平成30年度
ボランティア連絡協議会
福祉バザー

皆様のご協力に感謝!!

福祉バザー売上金

10/21	友部支部	545,575円
11/3	笠間支部	195,752円

岩間支部はH31年3月31日に予定しています。
※益金は地域福祉活動費として活用させていただきます。

友部支部

10月21日

友部公民館

『ふるさとまつりinかさま』

心をひとつにして

友部支部 副会長 菊地 寿代

今年も「ふるさとまつりinかさま」に多くの市民の皆さまからたくさんの物品をお寄せいただきありがとうございます。

暑い夏でしたが、9月に入って気持ち切りかえ、代



仕込みに大忙し

表者会議の決定にあわせて準備を始めました。寄付していただいた想いを受けとり、慎重に値付けをするのは、大変でも楽しい作業です。値付けの時の昼食はいつもボランティア「配食さくら」の男の人たちが甘口と辛口のカレーを2鍋作ってくれ、おいしくて幸せな気持ちになります。バザー当日、お客様は開店が待ちきれない様子。売れるのも買うのも見るだけでも楽しい一日でした。うれしい売上げがあったのではないのでしょうか。

バザーの品物は社会や私たちの暮らしむきに合わせて年々減ってきているように感じますが、やらなければ何も生み出せません。日頃は自分の得意に合わせて、それぞれのサークルで活動しているボランティアですが、このバザーでは、心をひとつにして頑張りました。ご協力いただき、ありがとうございました。



「配食さくら」

前日より、800食を仕込みました

10/27

「ふれあいスポーツの集い」

笠間体育館



今年もタオルセットが売れました

笠間支部

11月3日

笠間芸術の森公園

『JA常陸ふれあいまつり』

岩間のボランティア

センターが移転

岩間支所ボランティアセンターは、笠間市役所岩間支所の2階の一室をお借りしていましたが、本年度から「笠間地域福祉センターいわま」（旧岩間保健センター）内にボランティアの活動拠点として、主に各サークルの会議・勉強会等に使用することになりました。

20サークルがありますので是非、参加していただきたいと思えます。「笠間地域福祉センターいわま」までお気軽にお越しください。サークルの楽しい活動をのぞいてみませんか。



レクリエーションいわま

◆問い合わせ先

岩間支所

TEL 0299 (45) 7889



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。



8